

倶多楽の火山活動解説資料（平成26年3月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気などの表面現象の状況（図1- 、図2）
日和山山頂爆裂火口の噴気の高さは火口縁上概ね50m以下で、噴気活動は低調に経過しました。
- ・地震及び微動の発生状況（図1- ）
火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。
- ・地殻変動の状況（図1- ）
衛星を用いた測位観測（GNSS連続観測¹⁾）では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

1) 気象庁では、衛星測位システムを用いた位置測定をこれまで「GPS 観測」と表記してきましたが、今後は「GNSS 観測」と表記します。GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
- ・その他
4月1日～2日（期間外）に、大湯沼の南東岸で硫黄の燃焼がありましたが、火山活動によるものではないと推定されます。詳しくは、4月2日発表の火山活動解説資料（http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/sapporo/14m04/20140402_111.pdf）をご覧ください。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び北海道大学のデータも利用して作成しています。
資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

今回の火山活動解説資料（平成26年4月分）は平成26年5月12日に発表する予定です。

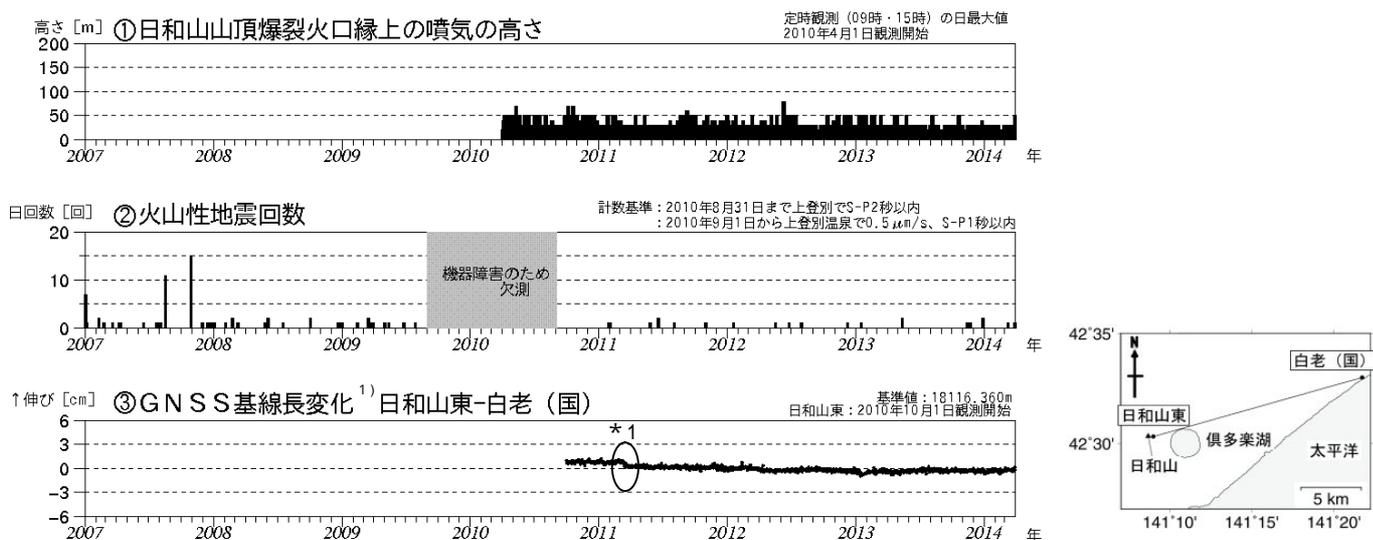


図1 倶多楽 火山活動経過図（2007年1月～2014年3月）、GNSS連続観測点配置図¹⁾

- ・ のGNSS基線は配置図の基線に対応しています
- ・ (国)：国土地理院
- * 1:楕円内の変動は、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響によるものであり、火山活動によるものではありません



図2 倶多楽 南南西側から見た日和山、大湯沼及び地獄谷周辺の状況（3月30日、414m山遠望カメラによる）

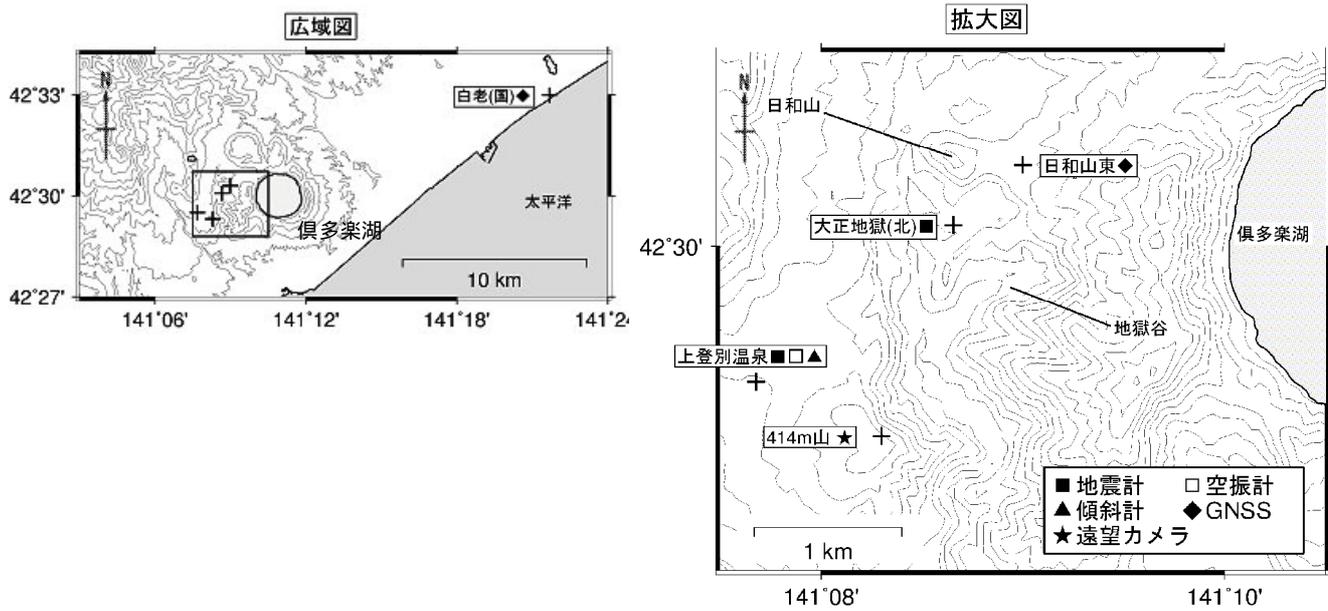


図3 倶多楽 観測点配置図

広域図内の は拡大図の範囲を示します

+印は観測点の位置を示します

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています

(国): 国土地理院

(北): 北海道大学